

お祝いのメッセージ

新入生の皆さん、御入学、誠におめでとうございます。

本日、晴れて本大学の学生となりました皆さんは、看護職者として社会に貢献したいという高い志を胸に、将来の夢や希望に満ちあふれておられることと存じます。

ぜひ、大学生活ではその気持ちを忘れることなく、大切に持ち続けていただきたいと思います。

また、今日まで深い愛情をもって支えてこられました御家族の皆様には、感慨もひとしおのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

さて、高齢化社会への移行が急速に進み、医療・介護へのニーズが高まる中、今後導入が予定されている「地域包括ケアシステム」の構築においては、医療的な観点からのケアはもとより、住み慣れた地域での暮らしや、患者個人の尊厳を守る観点からのアプローチが求められており、看護職の方々にも大変重要な役割を担っていただく必要があります。

また、本県においては、従来から抱える医師・看護師不足の深刻化に加え、新型コロナウイルス感染症への対応など、多くの課題を抱えておりますが、こうした医療現場の課題に対応し、これからの地域医療や看護体制を更に向上させていくためには、若い皆さんの持つ、柔軟な発想や行動力、そして豊かな想像力が何よりも期待されているところであります。

新入生の皆さんにおかれましては、本大学の恵まれた施設と環境のもとで大いに学ばれ、知識や技術の習得はもとより、新しい仲間たちとの友情を育んでいただき、温かく豊かな心を持った、人間味あふれる看護職の担い手として、立派に成長されることを御期待申し上げます。

結びに、新入生の皆さんをはじめ、本日御出席の皆様方の御健勝、御活躍と、公立大学法人宮崎県立看護大学の今後ますますの御発展を祈念申し上げ、お祝いのごあいさつといたします。

令和3年4月5日

宮崎県議会議長 丸山 裕次郎